

**前立腺がんの
監視療法について**

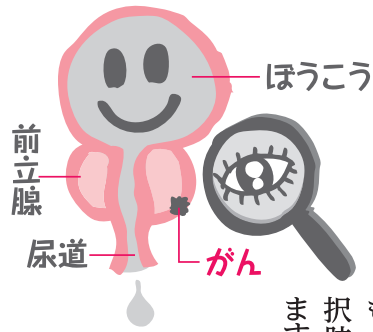


先日、前立腺がんと診断されました。初期のがんのように、治療しないといけませんか？



前立腺がんが小さくて悪性度が低い場合には、治療をせずに経過観察を行う方法として「監視療法」があり、前立腺がんの治療に伴う苦痛や生活の質の低下を避けることが目的です。「監視療法」の適応となる患者さんは、3〜6カ月ごとに前立腺がんの腫瘍マーカーであるPSA検査や、1〜3年ごとの前立腺生検を行い、病状悪化の兆候が見られた場合に治療を開始し

ます。近年、診断技術の向上で、前立腺がんが早期に発見されるようになってきましたが、おとなしい前立腺がんの場合には「監視療法」も一つの選択肢となります。



高知高須病院
副院長 松下 和弘さん

高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377 (泌尿器科)